

2014年度決算の概要 及び 2015年度業績予想の概要

三井化学株式会社

2015年5月12日

目次

1. 2014年度決算の概要	
1)2014年度 事業概況およびトピックス	… 1、2
2)決算の概要	… 3、4
3)セグメント別 売上高・営業利益の内訳 (増減分析 対前年決算)	… 5
4)セグメント別 売上高・営業利益の内訳 (対前回予想)	… 6
5)営業外損益の内訳	… 7
6)特別損益の内訳	… 8
7)貸借対照表	… 9
8)キャッシュ・フロー計算書	…10
2. 2015年度業績予想の概要	
1)2015年度 事業環境およびトピックス	…11
2)業績予想の概要	…12
3)セグメント組替 (14年度決算)	…13
4)セグメント別 売上高・営業利益の予想 (対前年決算)	…14
5)営業利益推移 (13年度決算→14年度決算→15年度予想)	…15
6)セグメント別 売上高・営業利益の予想 (上期・年度)	…16
7)営業外損益の内訳	…17
8)特別損益の内訳	…18
9)キャッシュ・フロー計算書	…19
10)連結経営データ	…20
3. 補助資料	…21~33

1. 2014年度決算の概要

1) 2014年度 事業概況およびトピックス

<事業概況>

- ◆メガネレンズ用材料、不織布等のヘルスケア材料および農薬は、海外需要拡大に伴って堅調に推移。
- ◆エラストマー、PPコンパウンド等の自動車関連材料は、北中米を中心に海外の需要好調が継続、また機能性ポリマーも、スマートフォン等電子情報関連材料向けを中心に好調が継続。
- ◆国内石化事業については、年度後半に原油安の影響を受けて、原料ナフサで在庫評価減を計上、また一部製品で買い控えの動きがあったものの、設備稼働率は高水準を維持、全般的には堅調に推移した。
- ◆大型市況製品の構造改革も予定通り進捗。
フェノール類については、各社新規設備の立上遅れの影響等による市況の改善もあり、赤字は縮小。ポリウレタン材料事業についても、海外市況の低迷が継続するものの、円安等の影響により赤字は縮小。

1) 2014年度 事業概況およびトピックス

<第4四半期トピックス>

(主な成長投資、新規稼働等)

- ・植物由来の高屈折率メガネレンズ用材料「Do Green™」を開発 (15年1月)
- ・中国機能性コンパウンド(三井化学功能複合塑料(上海)有限公司：
ミラストマー™、アドマー™) 新設備稼働開始 (1.1万t/年：15年3月)
- ・オーラル医療機器メーカーの米国Respire Medical社を買収 (15年3月)
- ・海外PPコンパウンド増強(北中米：4万トン)により、
グローバル100万t/年 体制確立 (15年3月)

(構造改革&合理化)

- ・京葉エチレンからの離脱 (15年3月)

2) 決算の概要

(単位：億円)

摘 要	13年度決算	14年度決算	増減	増減率	前回予想 (15.2.4発表)
売上高	15,660	15,501	△ 159	△1%	15,640
営業利益	249	420	171	69%	400
営業外損益	△ 24	24	48	—	20
経常利益	225	444	219	97%	420
特別損益	△ 330	△ 86	244	—	△ 70
税金等調整前 当期純利益	△ 105	358	463	—	350
当期純利益	△ 251	173	424	—	150
為替レート(円/US\$)	100	110	+ 10		109
国産ナフサ(円/KL)	67,300	63,500	△ 3,800		62,500
年間配当	3 円/株	5 円/株	+ 2 円/株	—	5 円/株

2) 決算の概要

(単位：億円)

摘 要	13年度決算	14年度決算	増減	増減率
有利子負債	5,813	5,487	△ 326	△6%
Net 有利子負債	5,093	4,967	△ 126	△2%
自己資本	3,528	4,062	534	15%
Net D / E レシオ (倍)	1.44	1.22	△ 0.22	—
自己資本比率 (%)	24.6	28.8	4.2	—

(単位：社)

摘 要	13年度決算	14年度決算	増減	備考
連結対象会社数				
連結子会社	97	100	3	
持分法子会社	8	8	0	
持分法関連会社	30	29	△ 1	
連結対象会社計	135	137	2	

3) セグメント別 売上高・営業利益の内訳 (増減分析 対前年決算)

(単位：億円)

セグメント	売上高			営業利益			増減内訳			
	13年度 決算	14年度 決算	増減	13年度 決算	14年度 決算	増減	数量差	交易条件	固定費他	決算期 変更
機能化学品	1,904	2,190	286	150	146	△ 4	31	1	△ 30	△ 6
機能樹脂	1,767	1,745	△ 22	119	189	70	32	40	7	△ 9
ウレタン	1,638	1,548	△ 90	△ 52	△ 35	17	△ 17	22	13	△ 1
基礎化学品	3,762	3,112	△ 650	△ 174	△ 74	100	△ 24	63	61	0
石化	5,524	5,768	244	253	209	△ 44	1	△ 36	11	△ 20
フィルム・シート	799	827	28	9	37	28	8	8	12	0
その他	266	311	45	△ 56	△ 52	4	0	0	4	0
合計	15,660	15,501	△ 159	249	420	171	31	98	78	△ 36

4) セグメント別 売上高・営業利益の内訳 (対前回予想)

(単位：億円)

セグメント	売上高			営業利益			主要増減内訳 (営業利益)
	14年度 予想 (15.2.4発表)	14年度 決算	増減	14年度 予想 (15.2.4発表)	14年度 決算	増減	
機能化学品	2,190	2,190	0	165	146	△ 19	ライセンス減販 (-) 及び 農薬研究費前倒し (-)
機能樹脂	1,730	1,745	15	170	189	19	増販他 (+)
ウレタン	1,620	1,548	△ 72	△ 10	△ 35	△ 25	ポリウレタン材料 交易条件悪化 (-)
基礎化学品	3,170	3,112	△ 58	△ 75	△ 74	1	
石 化	5,780	5,768	△ 12	180	209	29	ナフサ価格下落影響緩和 (+)
フィルム・シート	840	827	△ 13	40	37	△ 3	
そ の 他	310	311	1	△ 70	△ 52	18	費用期ズレ (+)
合 計	15,640	15,501	△ 139	400	420	20	

5) 営業外損益の内訳

(単位：億円)

摘 要	13年度 決算	14年度 決算	増減	備考
持分法投資損益	8	△ 1	△ 9	
金 融 収 支	△ 33	△ 23	10	
為 替 差 損 益	2	52	50	
そ の 他	△ 1	△ 4	△ 3	
営 業 外 損 益	△ 24	24	48	

6) 特別損益の内訳

(単位：億円)

摘 要	13年度 決算	14年度 決算	増減	備考
特別利益 (A)				
資 産 売 却 益	25	23	△ 2	
受 取 保 険 金	41	—	△ 41	
特別利益計	66	23	△ 43	
特別損失 (B)				
固 定 資 産 処 分 ・ 売 却 損	23	45	22	
減 損 損 失	5	53	48	
事 業 構 造 改 善 費 用	368	—	△ 368	13年度：ポリウレタン事業、 フェノール事業等
そ の 他	—	11	11	
特別損失計	396	109	△ 287	
特別損益 (A - B)	△ 330	△ 86	244	

7) 貸借対照表

(単位：億円)

摘要	14年3月	15年3月	増減	摘要	14年3月	15年3月	増減
流動資産	(7,771)	(7,317)	(△ 454)	負債	(10,226)	(9,405)	(△ 821)
現預金	720	520	△ 200	買掛債務	2,198	1,642	△ 556
売掛債権	2,965	2,991	26	有利子負債	5,813	5,487	△ 326
たな卸資産	3,012	2,913	△ 99	その他	2,215	2,276	61
その他	1,074	893	△ 181	純資産	(4,096)	(4,713)	(617)
固定資産	(6,551)	(6,801)	(250)	株主資本	3,510	3,671	161
有形・無形 固定資産	4,980	5,064	84	その他の包括利益 累計額	18	391	373
[うち無形]	[722]	[728]	[6]	少数株主持分	568	651	83
投資等	1,571	1,737	166	合計	14,322	14,118	△ 204
合計	14,322	14,118	△ 204				

8) キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

摘 要	13年度 決算	14年度 決算	増減
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー (A)	435	583	148
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー (B)	△ 898	△ 350	548
フリーキャッシュ・フロー (A + B)	△ 463	233	696
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	669	△ 466	△ 1,135
IV. その他	56	27	△ 29
現預金等増減	262	△ 206	△ 468

2. 2015年度業績予想の概要

本資料の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、リスクや不確実性を含んでおります。
従いまして、実際の業績は今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

1) 2015年度 事業環境およびトピックス

<事業概況>

- ◆世界経済は、中国経済の成長鈍化が継続するものの、米国を中心に先進国の回復ペースが強まり、世界全体では、緩やかな成長が見込まれる。
- ◆日本経済は、消費増税の延期により景気のさらなる冷え込みは回避され、雇用・所得環境の改善を背景に個人消費が回復、プラス成長に転じるものと見込まれる。
- ◆当社は、これまで取り組んできた大型市況製品の事業再構築の効果の発現や、成長分野における着実な事業拡大等により、収益拡大を目指す。

<トピックス>

- ・韓国SKC社とのポリウレタン材料事業統合に関する合併会社設立 (15年7月)
- ・シンガポールにおける「エボリュー™」プラント新設 (30万トン/年：15年上期)
- ・世界初のXDI大型プラント、大牟田工場にて営業運転開始 (5千トン/年：15年10月)
- ・インドにおけるバイオポリオールプラント新設 (15年下期)

2) 業績予想の概要

(単位：億円)

摘 要	14年度決算		15年度予想		増減	
	4-9月	年度	4-9月	年度	年度	%
売上高	7,760	15,501	7,000	14,100	△ 1,401	△9%
営業利益	186	420	180	520	100	24%
営業外損益	8	24	△ 40	△ 50	△ 74	—
経常利益	194	444	140	470	26	6%
特別損益	△ 33	△ 86	△ 10	△ 50	36	—
税金等調整前 当期純利益	161	358	130	420	62	17%
当期純利益	74	173	50	250	77	45%

為替レート(円/US\$)	103	110	120	120	+ 10
国産ナフサ(円/KL)	70,400	63,500	50,000	50,000	△ 13,500

	中間	期末	中間	期末
配 当	2 円/株	3 円/株	3 円/株	3 円/株
	通期	5 円/株	通期	6 円/株

3) セグメント組替 (14年度決算)

(単位：億円)

組替前			組替後			
セグメント	売上高	営業利益	新セグメント	事業分野	売上高	営業利益
機能化学品	2,190	146	ヘルスケア	ヘルスケア材料、 歯科材料、不織布	1,445	95
機能樹脂	1,745	189	機能樹脂	エラストマー、機能性コンパ ウンド、機能性ポリマー	1,745	187
ウレタン	1,548	△ 35	ウレタン	ポリウレタン材料、 コーティング・機能材	1,548	△ 35
基礎化学品	3,112	△ 74	基礎化学品	フェノール、PTA・PET、 工業薬品、 精密化学品	3,245	△ 83
石化	5,768	209	石化	石化原料、ポリオレフィン、 ライセンス	5,844	216
フィルム・シート	827	37	フード & パッケージング	包装用フィルム、産業用 フィルム、機能シート、 農業化学品	1,292	91
その他	311	△ 52	その他	-	382	△ 51
合計	15,501	420	合計	-	15,501	420

ヘルスケア材料、
歯科材料、不織布

精密
化学品

ライセンス

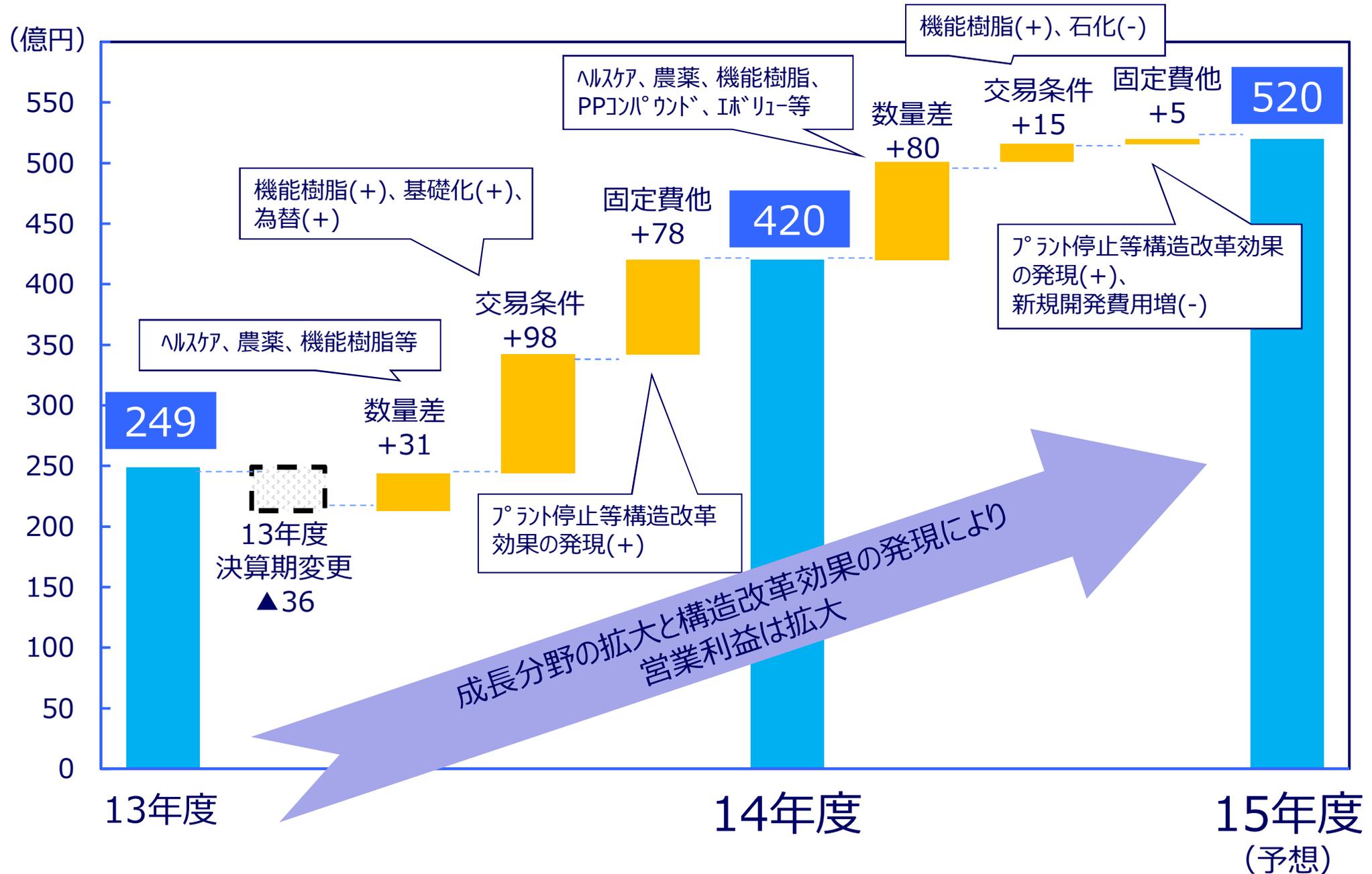
農業
化学品

4) セグメント別 売上高・営業利益の予想 (対前年決算)

(単位：億円)

セグメント	売上高			営業利益			主要増減内訳 (営業利益)
	14年度 決算	15年度 予想	増減	14年度 決算	15年度 予想	増減	
ヘルスケア	1,445	1,580	135	95	120	25	メガネレンズ用材料及び不織布等拡販(+)
機能樹脂	1,745	1,760	15	187	195	8	機ポ等拡販(+)、新規開発費用増(-)
ウレタン	1,548	1,180	△ 368	△ 35	△ 15	20	コーティング・機能材等拡販(+)
基礎化学品	3,245	2,930	△ 315	△ 83	△ 25	58	工業交易改善(+)、 プラント停止等コストダウン(+)
石化	5,844	4,920	△ 924	216	205	△ 11	PPコンパウンド及びエボリュウ等拡販(+)、 ポリオレフィン期ズレ(-)、京葉エチレン離脱(+)
フード & パッケージング	1,292	1,330	38	91	100	9	フィルム・シート及び農薬拡販(+)、 新規開発費用増(-)
その他	382	400	18	△ 51	△ 60	△ 9	新事業費用増等(-)
合計	15,501	14,100	△ 1,401	420	520	100	

5) 営業利益推移 (13年度決算→14年度決算→15年度予想)



6) セグメント別 売上高・営業利益の予想 (上期・年度)

(単位：億円)

セグメント	売上高					営業利益				
	14年度決算		15年度予想		増減 (b) - (a)	14年度決算		15年度予想		増減 (b) - (a)
	4-9月	年度 (a)	4-9月	年度 (b)		4-9月	年度 (a)	4-9月	年度 (b)	
ヘルスケア	710	1,445	840	1,580	135	47	95	55	120	25
機能樹脂	857	1,745	890	1,760	15	71	187	100	195	8
ウレタン	750	1,548	650	1,180	△ 368	△ 35	△ 35	△ 15	△ 15	20
基礎化学品	1,718	3,245	1,470	2,930	△ 315	△ 51	△ 83	△ 25	△ 25	58
石化	2,940	5,844	2,330	4,920	△ 924	125	216	60	205	△ 11
フード & パッケージング	614	1,292	620	1,330	38	53	91	45	100	9
その他	171	382	200	400	18	△ 24	△ 51	△ 40	△ 60	△ 9
合計	7,760	15,501	7,000	14,100	△ 1,401	186	420	180	520	100

7) 営業外損益の内訳

(単位：億円)

摘 要	14年度決算		15年度予想		増減 (b)-(a)
	4-9月	年度 (a)	4-9月	年度 (b)	
持分法投資損益	4	△ 1	△ 10	10	11
金融収支	△ 16	△ 23	△ 25	△ 50	△ 27
為替差損益	18	52	—	—	△ 52
その他	2	△ 4	△ 5	△ 10	△ 6
営業外損益	8	24	△ 40	△ 50	△ 74

8) 特別損益の内訳

(単位：億円)

摘 要	14年度決算		15年度予想		増減 (b)-(a)
	4-9月	年度 (a)	4-9月	年度 (b)	
特別利益 (A)					
資産売却益	2	23	-	-	△ 23
特別利益計	2	23	-	-	△ 23
特別損失 (B)					
固定資産処分・売却損	15	45	10	50	5
減損損失	18	53	-	-	△ 53
その他	2	11	-	-	△ 11
特別損失計	35	109	10	50	△ 59
特別損益 (A - B)	△ 33	△ 86	△ 10	△ 50	36

9) キャッシュ・フロー計算書

(単位：億円)

摘 要	14年度決算		15年度予想		増減 (b)-(a)
	4-9月	年度 (a)	4-9月	年度 (b)	
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー (A)	151	583	370	810	227
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー (B)	△ 168	△ 350	△ 310	△ 540	△ 190
フリーキャッシュ・フロー (A + B)	△ 17	233	60	270	37
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 117	△ 466	△ 50	△ 290	176
IV. その他	5	27	—	—	△ 27
現預金等増減	△ 129	△ 206	10	△ 20	186

10) 連結経営データ

項 目		14年度決算		15年度予想	
		4-9月	年間	4-9月	年間
為 替 レ ー ト	円/\$	103	110	120	120
国産標準ナフサ価格	円/KL	70,400	63,500	50,000	50,000
設 備 投 資 額	億円	191	475	250	440
(企業買収を除く)	億円	(160)	(431)	(250)	(440)
研 究 開 発 費	億円	158	325	170	330
減 価 償 却 費	億円	237	482	260	530
金 融 収 支	億円	△ 16	△ 23	△ 25	△ 50
期末有利子負債残高	億円	5,762	5,487	5,500	5,300
Net D/Eレシオ	倍	1.39	1.22	1.21	1.12
期 末 従 業 員 数	人	14,345	14,363	14,700	14,600

3. 補助資料

- 1) 主要製品価格の状況
- 2) セグメントの増減概要（売上高・営業利益）
- 3) セグメント別 売上高・営業利益の内訳（四半期別）
- 4) 主要関係会社の状況
- 5) 財務データ
- 6) 2014年度のトピックス

1) 主要製品価格の状況

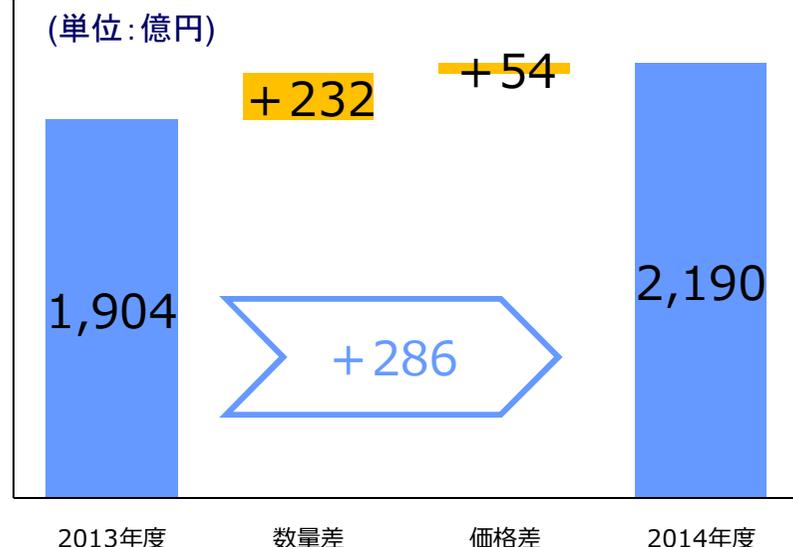
(PE国内、PP国内、PH国内、BPA国内：国内価格改定幅)

年		2012年			2013年			2014年				2015年	
月		4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
国産基準 ナフ価格	(円/KL)	60,600	49,800	55,800	63,800	65,500	63,900	67,800	72,000	69,900	70,900	66,000	47,000
PE国内	(円/KG)	+20円 程度	△20円 程度	+10円 程度	+15円 程度	+5円 程度	→	+10円 程度	+10円 程度	→	→	→	△30円 程度
PP国内	(円/KG)	+20円 程度	△20円 程度	+10円 程度	+15円 程度	+5円 程度	→	+10円 程度	+10円 程度	→	→	→	△30円 程度
PH国内 (フォーム価格)	(円/KG)	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
BZ (*ACP)	(\$/T)	\$1,160	\$1,110	\$1,320	\$1,430	\$1,310	\$1,250	\$1,290	\$1,330	\$1,270	\$1,380	\$1,060	\$650
BPA国内	(円/KG)	+25円	△14円 (8月~)	+13円 (11月~)	+36円 (3月~)	→	→	→	+21円 (3月~)	→	→	→	→
BZ・BPA市況をベースに都度交渉													
BPA 中国市況	(\$/T)	\$1,690	\$1,690	\$1,750	\$1,920	\$1,740	\$1,660	\$1,630	\$1,660	\$1,670	\$1,910	\$1,620	\$1,430
PTA 中国市況	(\$/T)	\$1,070	\$1,030	\$1,120	\$1,170	\$1,050	\$1,080	\$1,020	\$940	\$910	\$980	\$760	\$620
PX (*ACP)	(\$/T)	\$1,500	\$1,340	\$1,530	\$1,630	\$1,410	\$1,450	\$1,440	\$1,300	\$1,260	\$1,350	\$1,040	\$780
TDI 中国市況	(\$/T)	\$3,030	\$2,830	\$2,770	\$2,680	\$2,530	\$2,375	\$2,340	\$2,330	\$2,320	\$2,340	\$2,280	\$1,940

*ACP アジア圏契約価格

2-1) 機能化学品セグメントの増減概要 (売上高・営業利益)

売上高増減 (2014年度 対 2013年度)



2,190 億円 (前年同期比 +286億円)

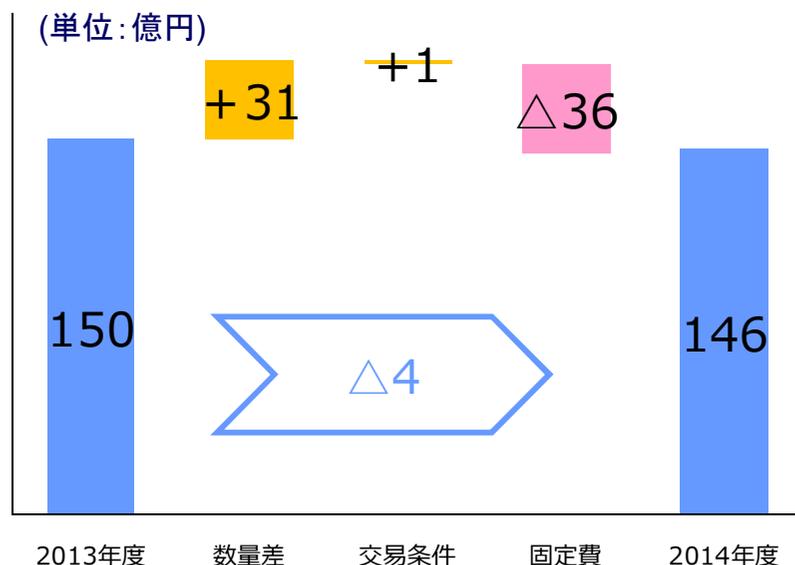
数量差 +232億円 (内、13年度決算期変更影響: △47)

- ・メガネレンズ用材料、不織布、農薬等の主に海外での需要拡大に伴う拡販。
- ・歯科材料事業買収による増加。

価格差 +54億円

主にヘルスケア、農薬の為替差。

営業利益増減 (2014年度 対 2013年度)



146 億円 (前年同期比 △4億円)

数量差 +31億円

メガネレンズ用材料、不織布、農薬の輸出拡大等による増販。

交易条件 +1億円

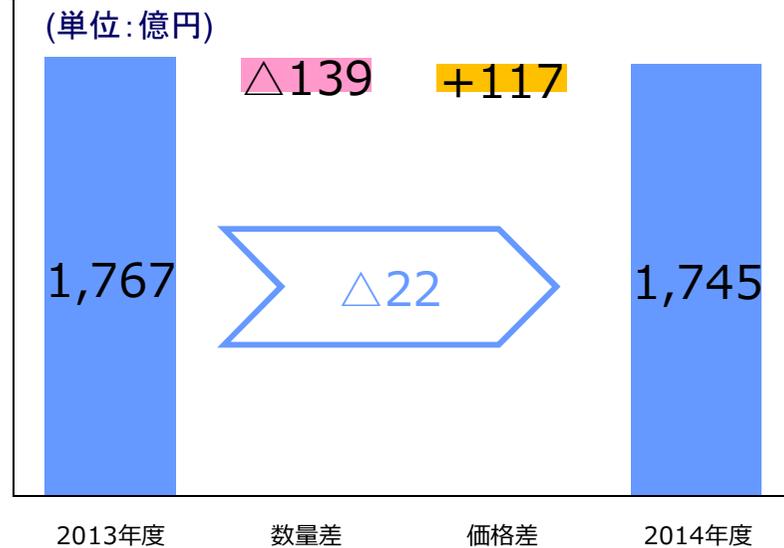
為替差等。

固定費他 △36億円 (内、13年度決算期変更影響: △6)

歯科材料事業買収による暖簾償却費の増加および固定費の増加等。

2-2) 機能樹脂セグメントの増減概要 (売上高・営業利益)

売上高増減 (2014年度 対 2013年度)



1,745 億円 (前年同期比 △22億円)

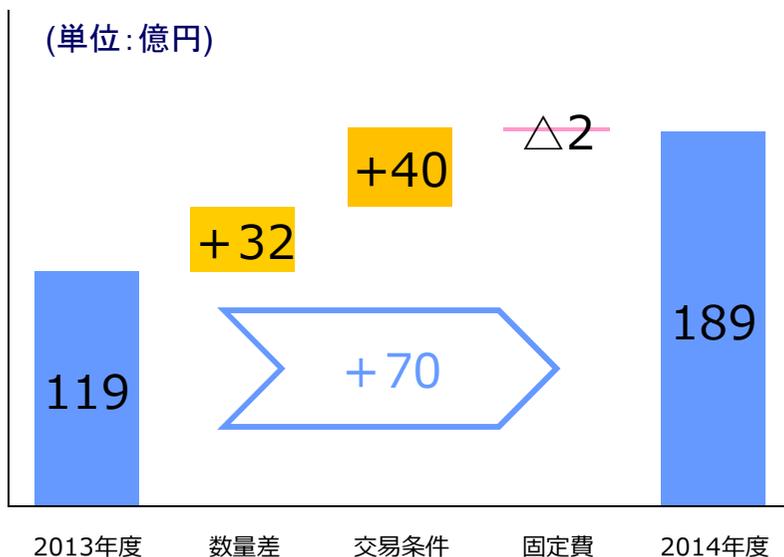
数量差 △139億円 (内、13年度決算期変更影響: △141)

- ・北米及びアジアを中心とする自動車用途の需要拡大に伴うエラストマー、機能性コンパウンドの拡販。
- ・スマートフォンおよび電子情報フィルム向け機能性ポリマー等の拡販。

価格差 +117億円

主に為替差。

営業利益増減 (2014年度 対 2013年度)



189 億円 (前年同期比 +70億円)

数量差 +32億円

- ・自動車用途の需要拡大に伴うエラストマー、機能性コンパウンドの増販。
- ・スマートフォンおよび電子情報フィルム向けに出荷が好調な機能性ポリマー製品の増販。

交易条件 +40億円

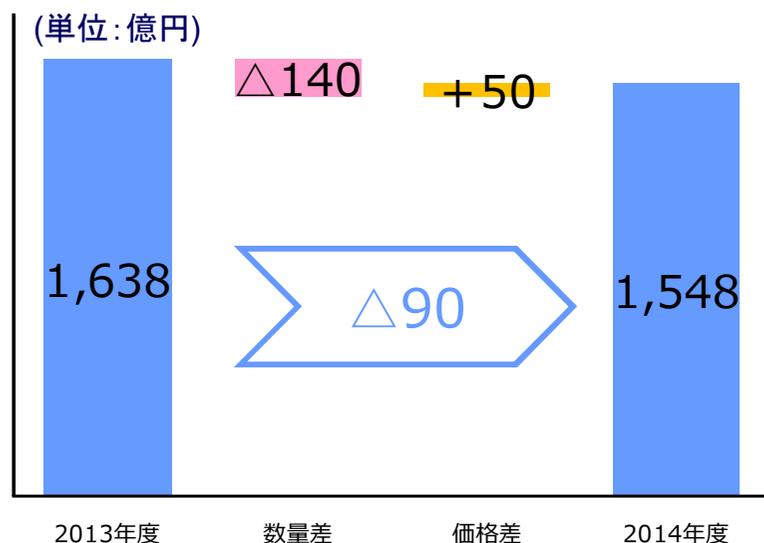
為替差等。

固定費他 △2億円 (内、13年度決算期変更影響: △9)

販管・研究費等の減少。

2-3) ウレタンセグメントの増減概要 (売上高・営業利益)

売上高増減 (2014年度 対 2013年度)

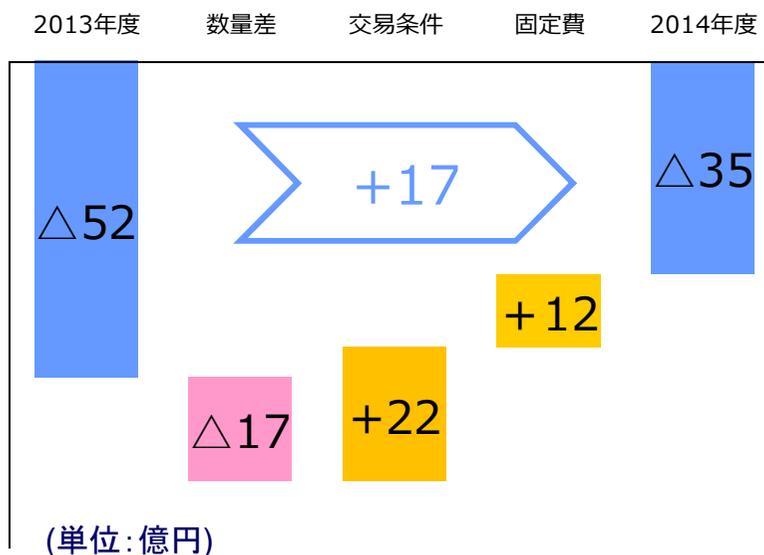


1,548 億円 (前年同期比 △90億円)

数量差 △140億円 (内、13年度決算期変更影響: △8)
 TDI等ポリウレタン材料の販売数量減少。

価格差 +50億円
 主に為替差。

営業利益増減 (2014年度 対 2013年度)



△35 億円 (前年同期比 +17億円)

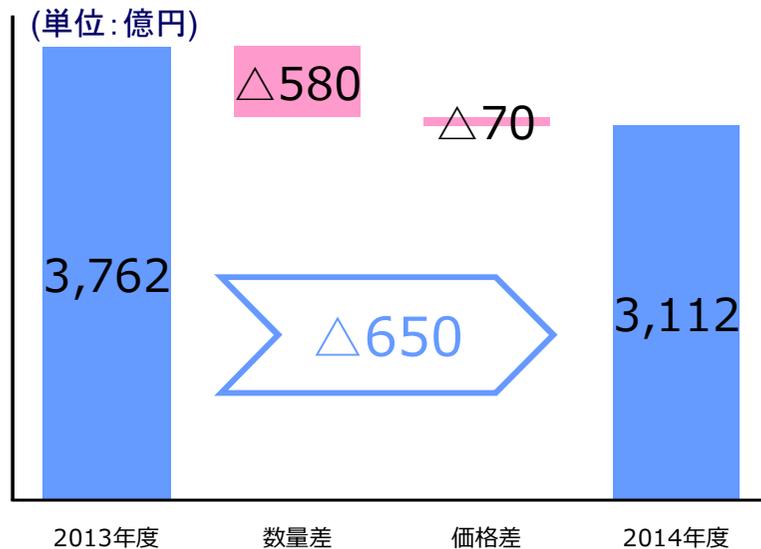
数量差 △17億円
 ポリウレタン材料の減販等。

交易条件 +22億円
 海外のTDI市況下落あるも為替差等により増益。

固定費他 +12億円 (内、13年度決算期変更影響: △1)
 コスト削減等。

2-4) 基礎化学品セグメントの増減概要 (売上高・営業利益)

売上高増減 (2014年度 対 2013年度)



3,112 億円 (前年同期比 △650億円)

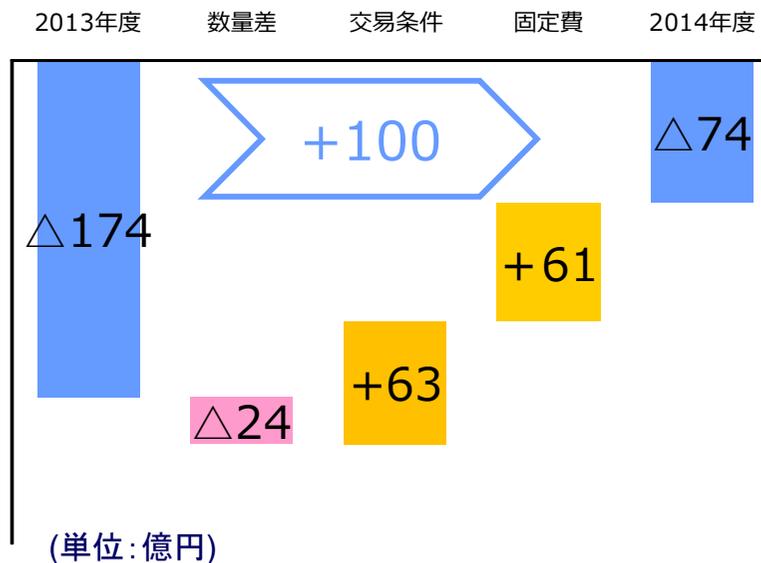
数量差 △580億円

PTAの連結子会社範囲変更に伴う減少およびフェノール類での地産地消化に伴う輸出の減少等。

価格差 △70億円

原油価格下落に伴う市況価格下落により減収。

営業利益増減 (2014年度 対 2013年度)



△74 億円 (前年同期比 +100億円)

数量差 △24億円

PTAの連結子会社範囲変更に伴う減販等。

交易条件 +63億円

フェノール類等。

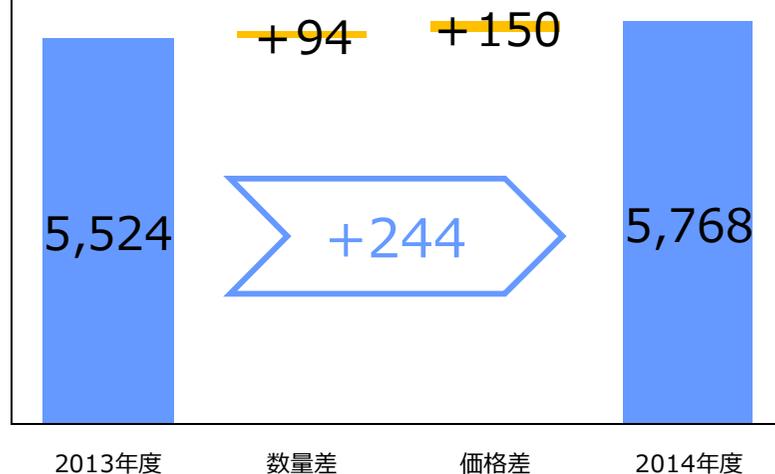
固定費他 +61億円

フェノール及びビスフェノールAプラント停止に伴う固定費減少並びに PTAの連結子会社範囲変更に伴う固定費減少等。

2-5) 石化セグメントの増減概要 (売上高・営業利益)

売上高増減 (2014年度 対 2013年度)

(単位: 億円)



5,768 億円 (前年同期比 +244億円)

数量差 +94億円 (内、13年度決算期変更影響: △243)

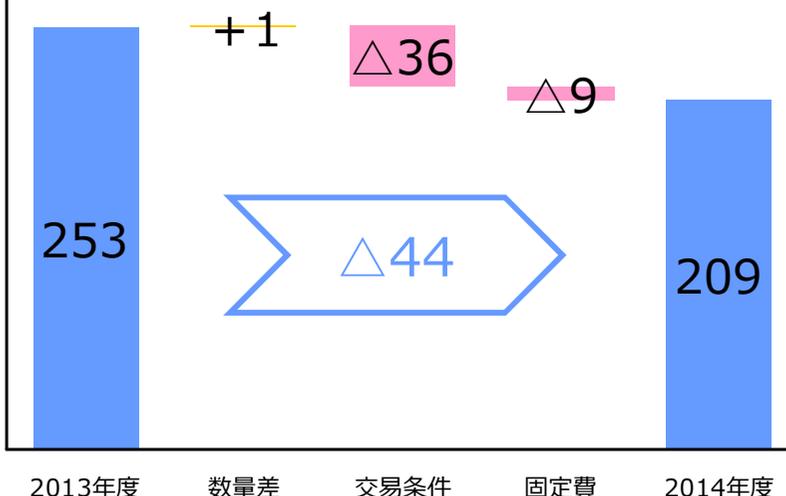
海外の自動車向けPPコンパウンドの増加。

価格差 +150億円

主に為替差。

営業利益増減 (2014年度 対 2013年度)

(単位: 億円)



209 億円 (前年同期比 △44億円)

数量差 +1億円

・海外PPコンパウンドの拡販。

交易条件 △36億円

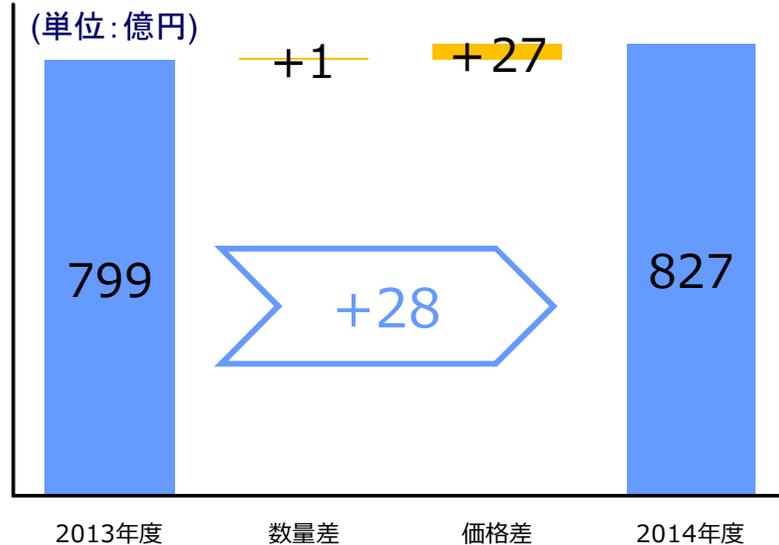
ナフサクラッカー稼働率の向上等による改善も、原油価格急落による在庫評価減により減益。

固定費他 △9億円 (内、13年度決算期変更影響: △20)

ポリオレフィンプラント停止に伴う固定費減少等。

2-6) フィルム・シートセグメントの増減概要 (売上高・営業利益)

売上高増減 (2014年度 対 2013年度)

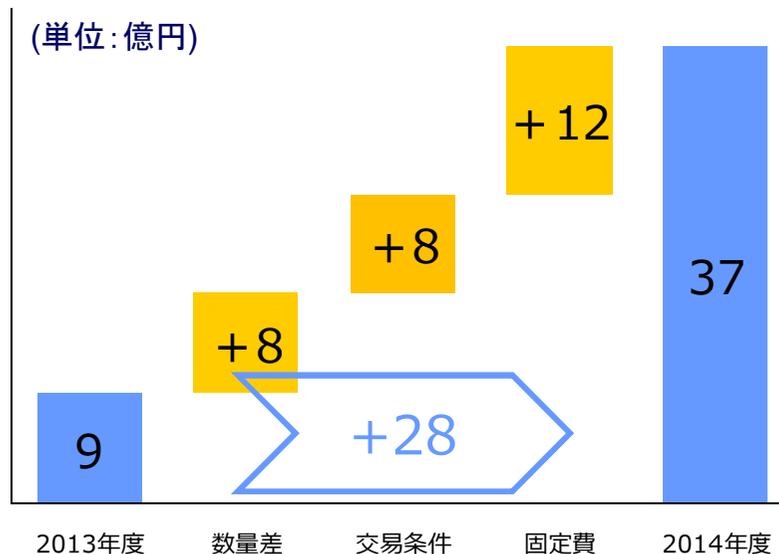


827 億円 (前年同期比 +28億円)

数量差 +1億円 (内、13年度決算期変更影響: △8)
 包装フィルム、機能シートの減販あるも、電子・情報用フィルムの増販。

価格差 +27億円
 主に為替差。

営業利益増減 (2014年度 対 2013年度)



37 億円 (前年同期比 +28億円)

数量差 +8億円
 電子・情報用フィルムの増販等。

交易条件 +8億円
 14年度初めの価格改定と為替差。

固定費他 +12億円
 コスト削減等。

3) セグメント別 売上高・営業利益の内訳 (四半期別)

売上高推移

(単位：億円)

セグメント	13年度				14年度			
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月 ^{※1}	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月
機能化学品	385	393	496	630	533	519	532	606
機能樹脂	399	411	399	558	426	431	427	461
ウレタン	361	402	420	455	357	393	413	385
基礎化学品	1,052	989	831	890	810	842	750	710
石化	1,180	1,233	1,356	1,755	1,499	1,409	1,467	1,393
フィルム・シート	197	197	206	199	198	207	221	201
その他	57	60	64	85	69	67	82	93
合計	3,631	3,685	3,772	4,572	3,892	3,868	3,892	3,849

※1 決算期変更影響：461億円含む

営業利益推移

(単位：億円)

セグメント	13年度				14年度			
	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月 ^{※2}	4-6月	7-9月	10-12月	1-3月
機能化学品	39	40	42	29	47	31	26	42
機能樹脂	38	36	19	26	39	33	47	70
ウレタン	△17	△24	△7	△4	△21	△14	7	△7
基礎化学品	△27	△53	△59	△35	△28	△16	△12	△18
石化	71	27	56	99	72	51	67	19
フィルム・シート	7	2	3	△3	8	9	14	6
その他	△18	△11	△13	△14	△13	△12	△8	△19
合計	93	17	41	98	104	82	141	93

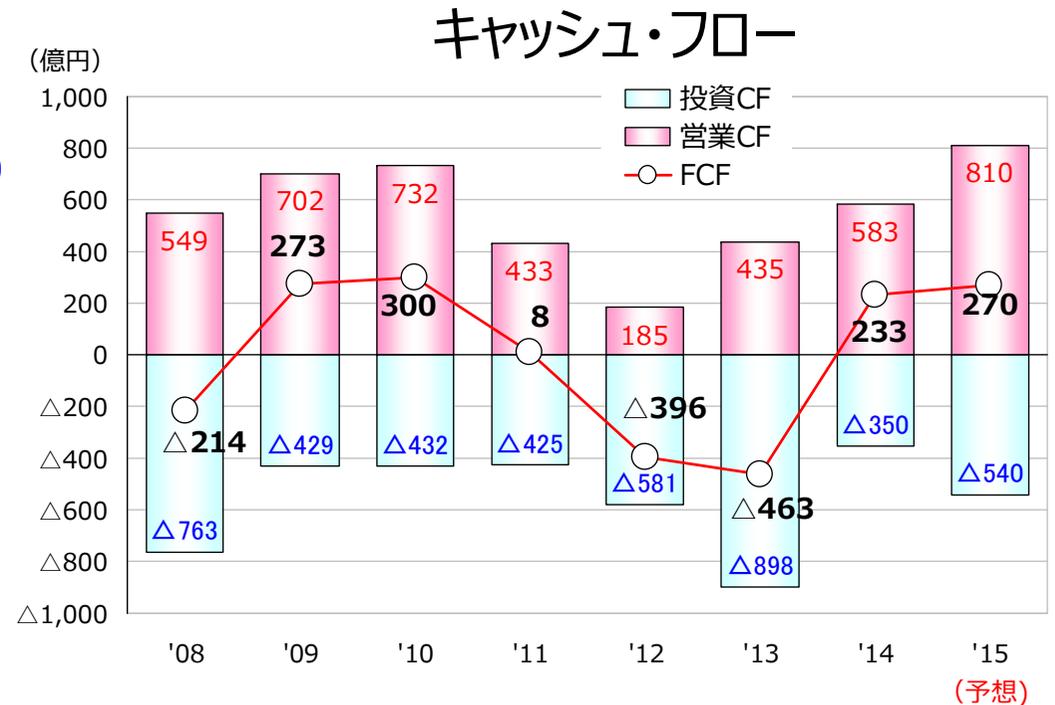
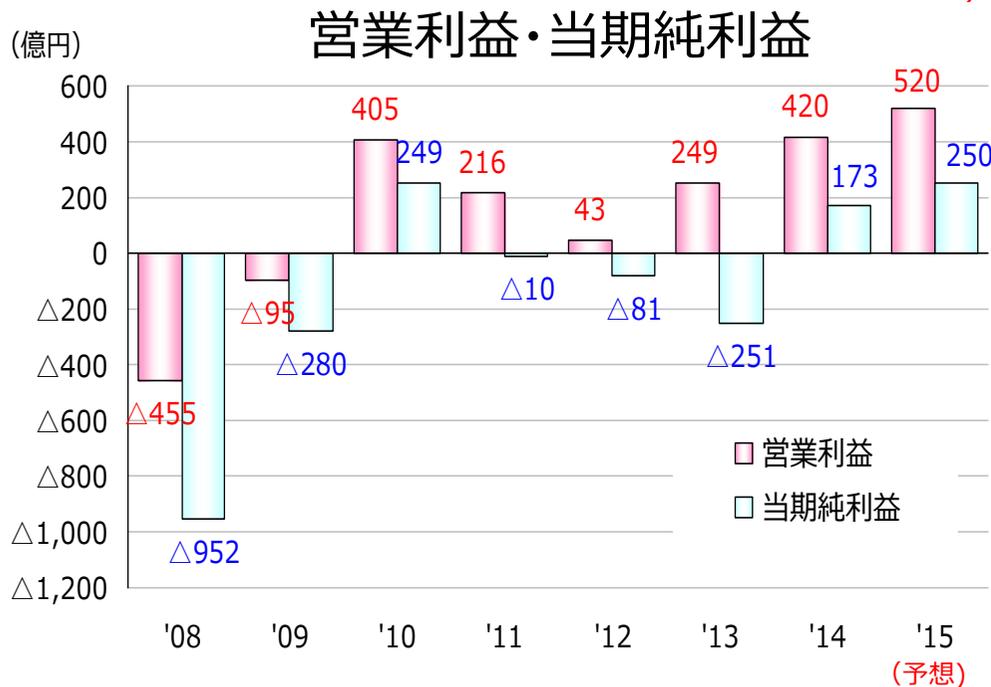
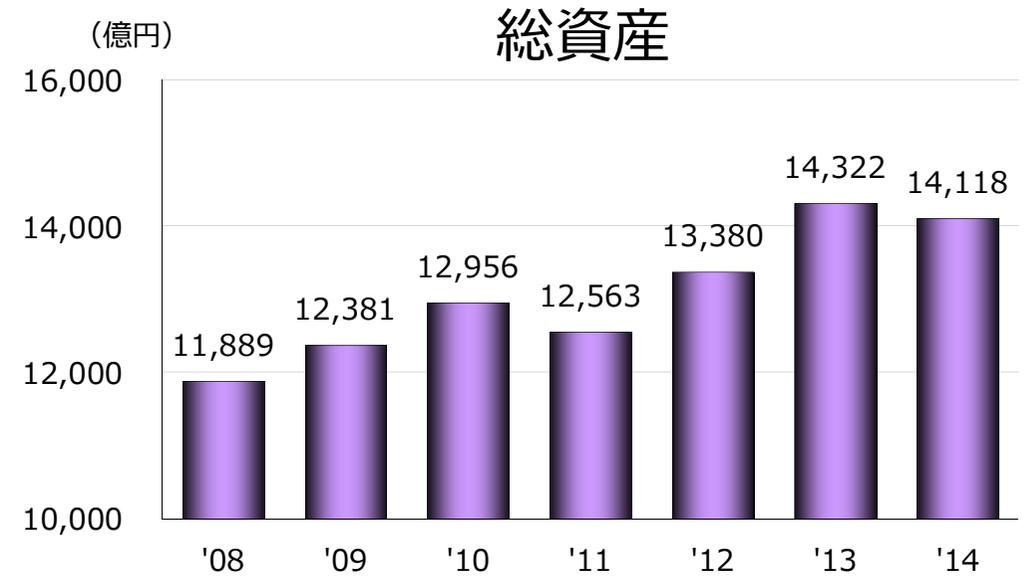
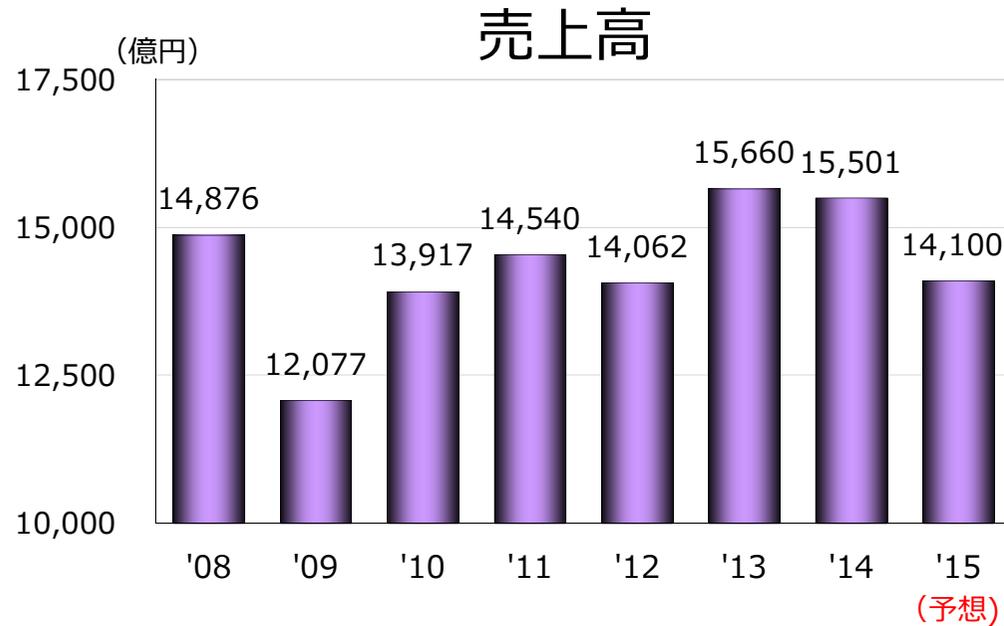
※2 決算期変更影響：36億円含む

4) 主要関係会社の状況

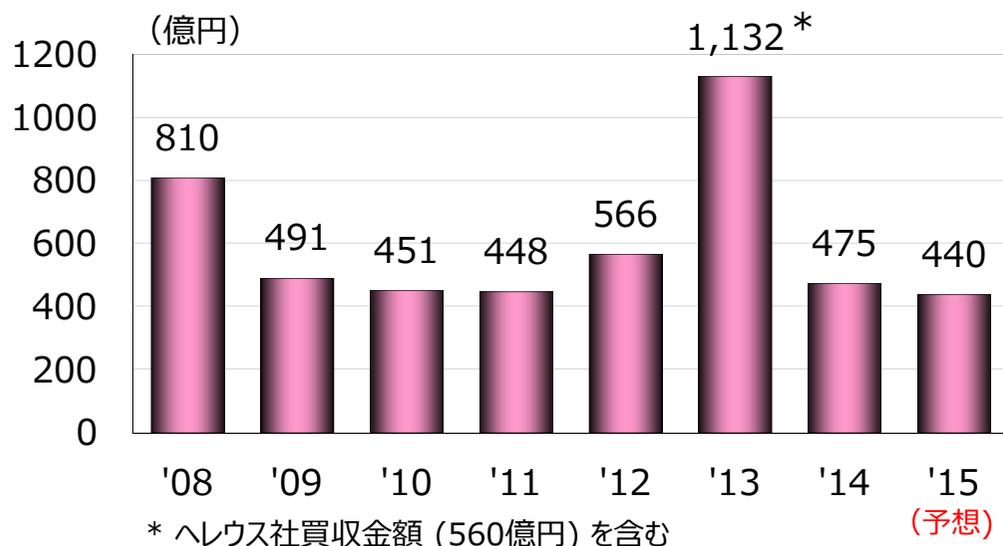
項 目	資本金	当社シェア	売上規模	営業利益	
			(14年度)	14年度	15年度予想
連結子会社	億円	%	億円		
プライムポリマー	200	65.0	3,000	黒字	→
アドバンスド・コンポジット	14.1百万US\$	61.8	1,000	黒字	→
三井フェノールズシンガポール	120百万US\$	95.0	700	黒字	→
三井エラストマーズシンガポール	96百万US\$	100.0	600	黒字	→
三井化学アグロ	3.5	100.0	400	黒字	→
三井化学東セロ	34.5	100.0	800	黒字	→
持分法適用会社					
三井・ティンポノケミカル	64.8	50.0	400	黒字	→
三井・ティンポノケミカル	28.8	50.0	300	黒字	→
サイアム三井PTA	48億BAHT	50.0	900	赤字	→

営業利益：→は対14年度5億円未満の増減

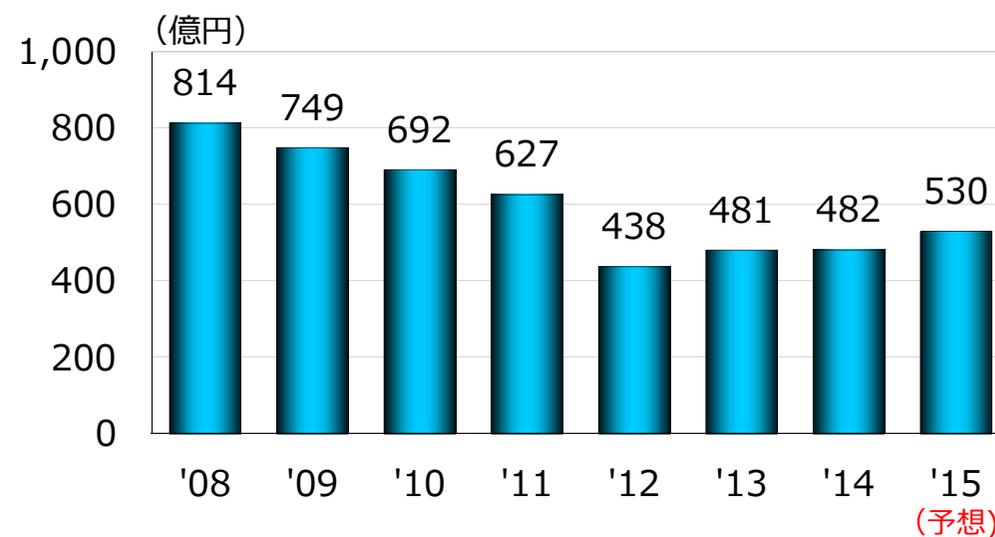
5-1) 財務データ



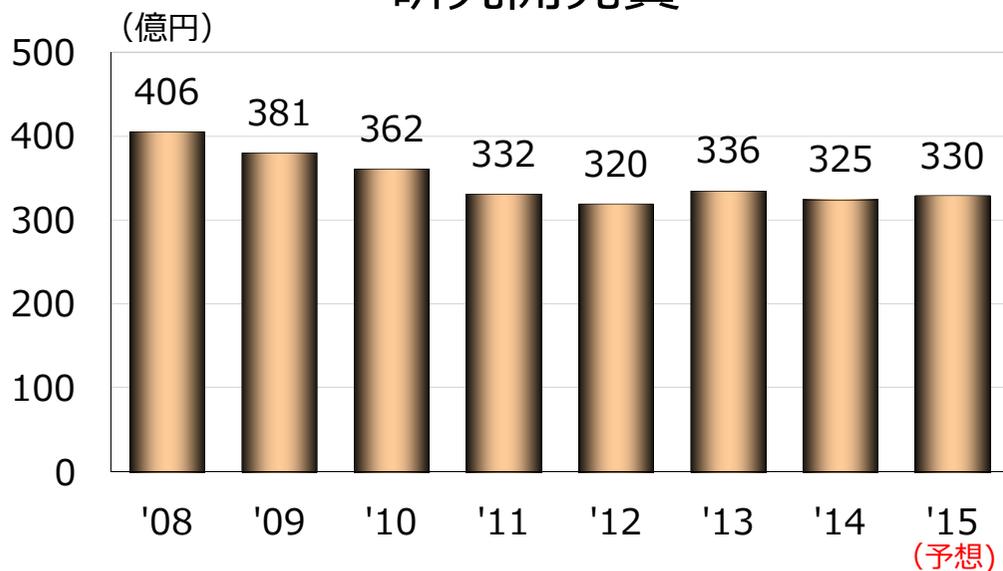
設備投資額



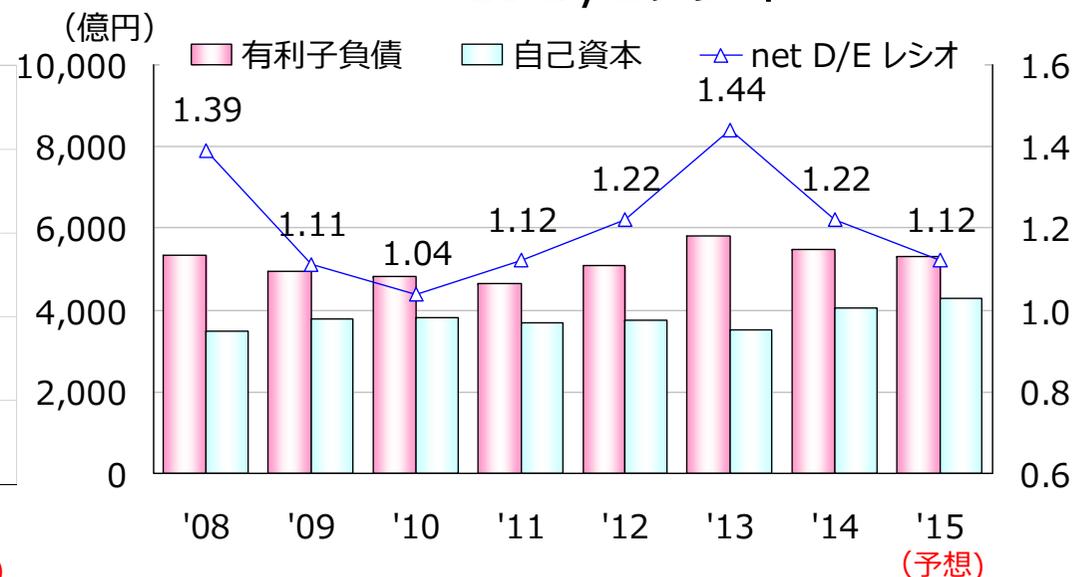
減価償却費



研究開発費



Net D/Eレシオ



6-1) 2014年度のトピックス

(主な成長投資、新規稼働)

- ・米国Corning社の調光レンズ材料「SunSensors®」譲受け (14年5月)
- ・BASFと新規殺虫剤のグローバル共同開発契約締結 (14年6月)
- ・歯科材用3Dスキャナー・CADソフトウェアのイタリアEGS社を買収 (14年7月)
- ・LIBの熱暴走を抑制するSTOBA®の製造販売に関する特許独占ライセンス取得 (14年9月)
- ・企画・設計・試作機能を有する金型メーカーの共和工業を買収 (14年9月)
- ・たはらソーラー・ウインド営業運転開始 (14年10月)
- ・韓国でのマーケティング拠点「三井化学(株) 韓国支社」を設立 (14年10月)
- ・五感や五体の課題を抱える人々に
革新的なヘルスケア・ソリューションを提供するブランド「Whole You™」が誕生 (14年11月)
- ・新規特殊イソシアネート2製品の事業化決定 (2,000t/年 : 14年12月)
16年度上期に大牟田工場内に2,000t/年の増強を行い、量産体制を整える予定。
- ・中国EPT(上海中石化三井弾性体有限公司)稼働開始 (7.5万t/年 : 14年12月)
- ・韓国SKC社とのポリウレタン材料事業統合に関する合併契約締結 (14年12月)
- ・植物由来の高屈折率メガネレンズ用材料「Do Green™」を開発 (15年1月)
- ・中国機能性コンパウンド(三井化学功能複合塑料(上海)有限公司 : ミラストマー™、アドマー™)
新設備稼働開始 (1.1万t/年 : 15年3月)
- ・オーラル医療機器メーカーの米国Respire Medical社を買収 (15年3月)
- ・海外PPコンパウンド増強(北中米 : 4万トン)により、グローバル100万t/年 体制確立 (15年3月)

6-2) 2014年度のトピックス

(構造改革、合理化)

- ・市原BPA停止(9万t/年)およびシンガポールBPA 1系列休止(7万t/年) → 14年3月末実施済
- ・有機酸事業承継の事業譲渡契約締結 (14年7月)
- ・千葉フェノール (25万t/年) 停止完了 (14年9月)
- ・有機酸事業承継の事業(営業権)譲渡 (14年10月)
生産設備(生産能力:無水マレイン酸 3.2万t/年、フマル酸 1.5万t/年)については、TDI設備等の撤去工事終了後(17年度上期中を目途)
- ・千葉地区LLDPE設備1基停止 (6万t/年 : 14年10月)
- ・中国PH(上海中石化三井化工有限公司)稼働開始 (PH 25万t/年、AC 15万t/年 : 14年12月)
- ・京葉エチレンからの離脱 (15年3月)



Mitsui Chemicals

新たな顧客価値を創造し、事業活動を通じて、
社会課題を解決する